

## 乾燥減量試験器

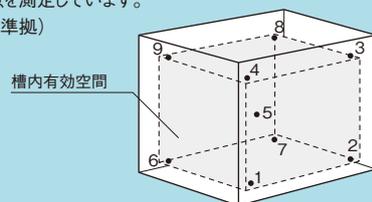
温度分布 $\pm 2^{\circ}\text{C}$ を実現する乾燥減量試験器

- 設定値に対し、 $\pm 2^{\circ}\text{C}$ の温度分布を実現します  
例) 設定  $105^{\circ}\text{C}$ の場合、 $103\sim 107^{\circ}\text{C}$ の分布
- $50\sim 180^{\circ}\text{C}$ の広範囲で $\pm 2^{\circ}\text{C}$ 分布を実現。  
再現性の高い適切な試験空間で  
日本薬局方記載の様々な試験をカバー

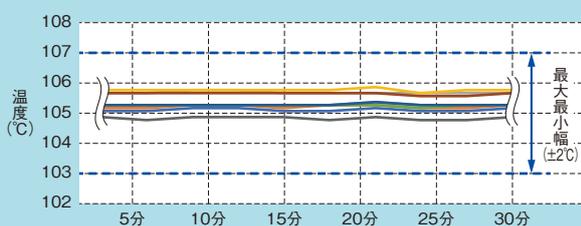
日本薬局方の『乾燥減量試験法』では、『加熱して乾燥する場合は、加熱温度を医薬品各条に規定する温度の $\pm 2^{\circ}\text{C}$ の範囲とし』と記載されています。

### ● 温度分布測定データ

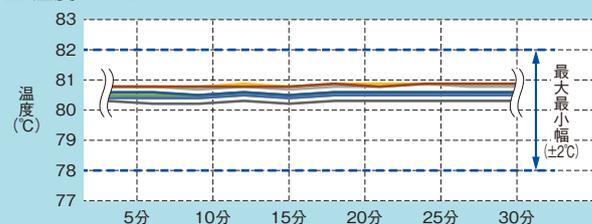
槽内の有効空間の9点を測定しています。  
(測定点はJTM規格に準拠)



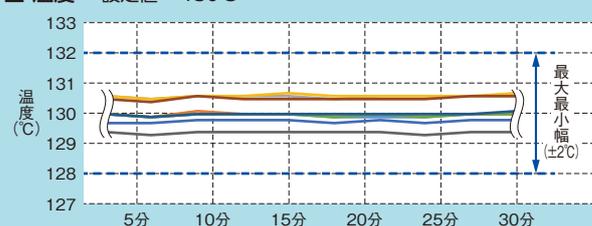
#### ■ 温度 設定値: $+105^{\circ}\text{C}$



#### ■ 温度 設定値: $+80^{\circ}\text{C}$



#### ■ 温度 設定値: $+130^{\circ}\text{C}$



## 仕様

|            |                       |                       |
|------------|-----------------------|-----------------------|
| 電源電圧/全負荷電流 | AC200V 1φ 50/60Hz/10A |                       |
| 性能※1       | 温度範囲                  | +50~+180℃             |
|            | 温度最大最小幅※2             | ±2℃(設定値に対し9点分布が±2℃以内) |
| 内容積        | 91L                   |                       |
| 内法         | W450×H450×D450 mm     |                       |
| 外法         | W1040×H820×D635 mm    |                       |

※1 外囲温度が+23℃、無試料の場合における値です。排気ダンパは全閉、標準風速の状態。

※2 試験槽内(JTM K05:2000準拠)における温度の差を“温度最大最小幅”とし、保証します。

●形状の小さいものを槽内に設置する場合、棚板の上に落下防止用のカゴ等を別途ご用意ください

## オプション

### ■ 記録計



### ■ 棚板



## バリデーション

### IQ (Installation Qualification) 設備据付時適格性評価

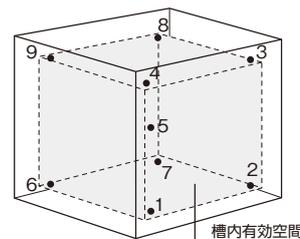
試験装置の性能が発揮される据付状況かを確認します。  
据付状況はチェックリストに基づき、適格性の確認を行います。

### CAL (Calibration) キャリブレーション

試験装置に装備されている計測器のループ校正を行います。  
指示計測器に温度センサー等が接続された状態での測定値と  
基準計測器の測定値の関係を確認します。

### OQ (Operational Qualification) 運転時適格性評価

目的とする試験装置の性能が発揮されているかを確認します。  
乾燥減量試験器では、主に温度分布の適格性確認となります。



槽内有効空間

## 安定性試験槽のご紹介

設定値に対し、±2℃/±5% rhの温湿度分布を実現



安定性試験器 CSH



安定性試験室 CWH

エスペック株式会社 <https://www.espec.co.jp/>

530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6

●エスペック製品や技術に関するお問い合わせは

カスタマーサポートデスク  0120-701-678